



【日本人のこころ】

# 伊勢の神宮のお神札ふだを

## おまつりしましよう

「神宮大麻」は、天照大御神をおまつりする「伊勢の神宮」のお神札ふだで、皇室と日本の安寧あんねいの祈りが込められています。

大麻たいまとは古来より神様への捧げ物やお祓いの際に用いられる「大麻おおぬさ」（麻、木綿）を指しております。このことから、厳重なお祓いを経て授けられるお神札を「大麻」と呼ぶようになりました。

また、私たちが住む地域の神社「氏神うじがみ」には地域・家庭の平穏への祈りが込められた「氏神さまのお神札」があります。

安寧・平穏の祈りが込められたお神札をおまつりすることは、暮らしと命を大切に思う「こころ」の表れと言えます。

「神宮大麻」と「氏神さまのお神札」をおまつりし心健やかな日々を送りましょう。

※氏神うじがみ：祖先に縁深い地域をお守りくださる土地神さま。

### ○ 拝礼作法 ○

「ご神前に進んだら姿勢を正し、二拝二拍手一拝の作法でお参りします。

1 まず二回、深く頭を下げます。

（その深さは腰を九十度に折る程度が美しいといわれています。）

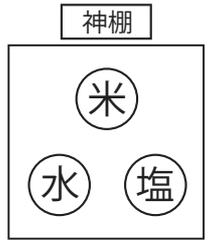
2 胸の前で両手をあわせ、右手を少し下にならずして二回手を打ちます。二拍手のあと、両手の指先をもとのとおり揃え、手を下ろします。

3 最後にもう一度、深く頭を下げます。

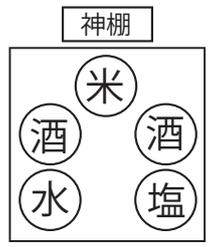
「ご神前では「感謝の心」、「おかげさまの心」を捧げてお参りしましょう。

### ○ お供えの仕方 ○

お米・お塩・お水をお供えする例



お米・お酒・お塩・お水をお供えする例

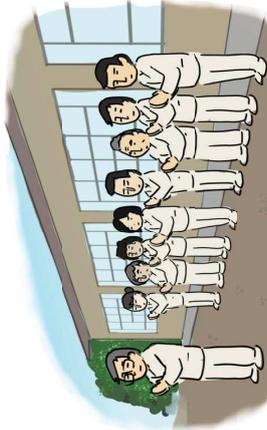


奉製に関するお祭り

たいまれきほつせいはいはじめたい

大麻暦奉製始祭 (一月上旬)

奉製作業を開始することを大御神に奉告し、その年の最初の神宮大麻に神璽を押し捺します。



奉製を行う神宮職員(大麻奉製員)は毎朝潔斎をして身を清め、神宮遙拝の後、丁寧に作業にあたります。

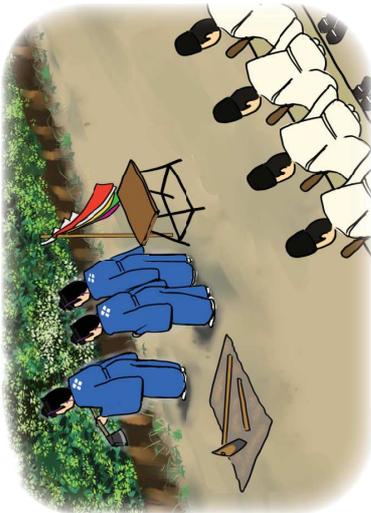
※神璽：神宮(神さま)のおしるし

大麻用材伐始祭

(四月中旬)

神宮大麻の御用材を伐り始めるにあたり、作業の安全を祈ります。

御用材には皇大神宮(内宮)の南方に位置する神路山の木々が用いられます。



大麻暦奉製終了祭

(十二月下旬)

今年一年の奉製が終了したことを大御神に奉告します。

大麻修祓式 (随時)

清浄を期して奉製された神宮大麻はお祝いされ、頒布始祭まで神宮で奉安されます。

※完成した神宮大麻には白い薄紙が巻かれ、皆様のお手元に届くまで穢れなきよう、清浄が保たれます。



※頒布：幅広く配ること

頒布に関するお祭り

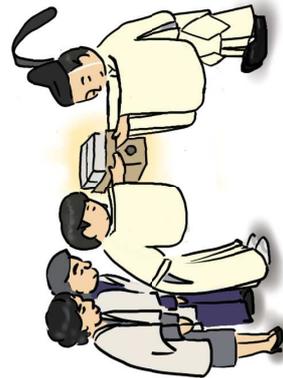
じんぐうたいまれきはんぷはいじめたい

神宮大麻暦頒布始祭 (九月十七日)

今年の頒布を始めることを大御神に奉告し、奉製された神宮大麻が神宮大司より神社本庁の統理(代表)



へと授与されます。その後各都道府県神社庁へ届けられ、頒布始奉告祭が執り行われます。



じんぐうたいまれきはんぷしゅうりょうさい

神宮大麻暦頒布終了祭 (三月五日)

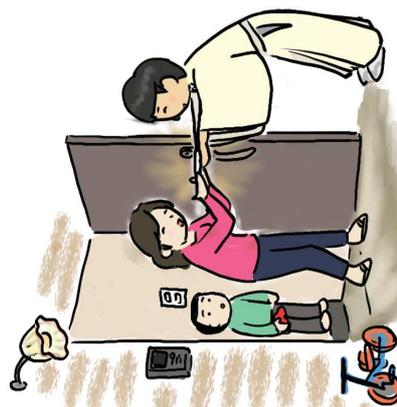
神社本庁統理以下、各都道府県神社庁代表者が参列のもと、恙なく頒布を終えたことを大御神に奉告します。



ご家庭への頒布

(十月〜十二月)

神職、氏子関係者の手によって各ご家庭へ頒布されます。現在の全国各地への頒布は、明治天皇の思召しにより明治五年から始まりました。神宮大麻は各神社においても授与しています。



神宮ユーチューブチャンネル  
心の循環

こちらを合わせてご覧下さい

令和三年度  
家庭祭祀啓蒙チラシ  
(神社本庁)

神宮大麻と氏神さまのお神札を一緒におまつりしましょう

発行人/ 神道青年全国協議会